

平成31年2月13日

研修会報告

日 時：平成31年2月9日（土） 14：00～17：15

場 所：東北大学医学部臨床小講堂

テーマ：「待ったなし！ゲノム医療～染色体・遺伝子検査の基礎、応用、課題～」

内 容：講演1「染色体検査の基礎と応用」

講師：東北大学病院診療技術部検査部門 安 久美子 技師

座長：東北大学病院診療技術部検査部門 鈴木 千恵 技師

講演2「遺伝子検査の基礎と応用」

講師：国立がん研究センター中央病院病理科・臨床検査科 若井 進 技師

座長：東北大学病院病理部 青山 弥生 技師

講演3「クリニカルシーケンスの実際～がんゲノム医療の現場より～」

講師：慶應義塾大学医学部病理学講座／ゲノム医療ユニット 柳田 絵美衣 技師

座長：宮城県立がんセンター臨床検査技術部 竹内 美華 技師

生涯教育点数：専門20点

参加者：51名 《会員49名、賛助会員2名》

今回の研修会はゲノム医療をテーマの中心とし、遺伝子・染色体検査の基礎から応用まで幅広く取り上げた。

講演1では、染色体検査について安久美子技師に基礎から実際までをわかりやすく説明してもらった。全国的に見ても、染色体検査を院内導入している施設は限られており、染色体検査に馴染のない参加者にとって非常に新鮮な内容であったと思われる。遺伝性疾患だけでなく、造血器腫瘍の染色体検査についても盛り込まれており、普段外注検査に出している者にとっても有意義な講演であった。

「遺伝子検査の基礎と応用」では、国立がん研究センター中央病院の若井進技師をお迎えした。遺伝子の構造や複製・翻訳など基礎的なことをとても詳しく学ぶことができ、また途中で筆記試験（自己採点方式）が行われるなど、普段の研修会では行われないような形式であった。また、遺伝子検査の精度管理の状況や医療法改正についても触れており、遺伝子検査従事者にとっても非常に勉強になる内容であった。

講演3では、今話題のがんパネル検査について慶應義塾大学医学部病理学講座／ゲノム医療ユニットの柳田絵美衣技師に講演してもらった。パネル検査は今後保険収載される予定であり、どの施設でも関わりのある検査である。クリニカルシーケンスの実際や今後の課題を学ぶことができ、参加者もがんゲノム医療の実態について、より具体的にイメージできるようになった貴重な機会であったと考える。また、最後の柳田先生からの熱いメッセージに皆心を打たれたと思われる。

全体を通して、宮城県で遺伝子・染色体検査の最前線で活躍されている講師の方々をお呼びできる機会はなかなか無いため、今回の研修会はとても刺激となる内容であった。今後も、会員が遺伝子・染色体検査に興味を抱いてもらえるような研修会を企画していきたい。

文責：真山